

VERTEX Information

❖ ボックスを利用した雨水貯留槽



施工完了

工事名	第二京阪（大阪北道路）倉治地区連続函渠その他工事
施主	国土交通省 近畿地方整備局 浪速国道事務所
施工場所	交野市倉治3丁目
施工時期	平成21年11月 ~ 平成21年12月
概要	<p>近年、ゲリラ豪雨などの影響により雨水貯留槽の需要が高まっています。また、様々なかたちで道路高架下の有効利用が行われています。第二京阪道路（高速道路）高架下も敷地有効利用を目的として、地下式の調整池が計画されました。</p> <p>樹脂製の製品は国交省より使用が認められず、高架下である為橋脚があり高さや幅に制約がありレッカーでの施工が不可能等と多くの制約がありました。エアーキャスター工法を用い、ボックスカルバート構造にすることで全ての制約をクリアしました。</p> <p>しかもプレキャスト製品（大型の3連ボックスを採用）という事で大幅に工期が短縮できました。</p>

採用ポイント



?

Q. 限られた敷地を無駄なく利用したいのですが……

A. プレキャスト製品を採用することで、現場にあわせた製品を製作することができます。（今回の場合は、大型の3連ボックスとした）
よって、橋脚間の空間を無駄なく使用でき、より多くの雨水を貯留できます。



?

Q. 高架下での工事なので、レッカーでの施工が不可能なのですが……

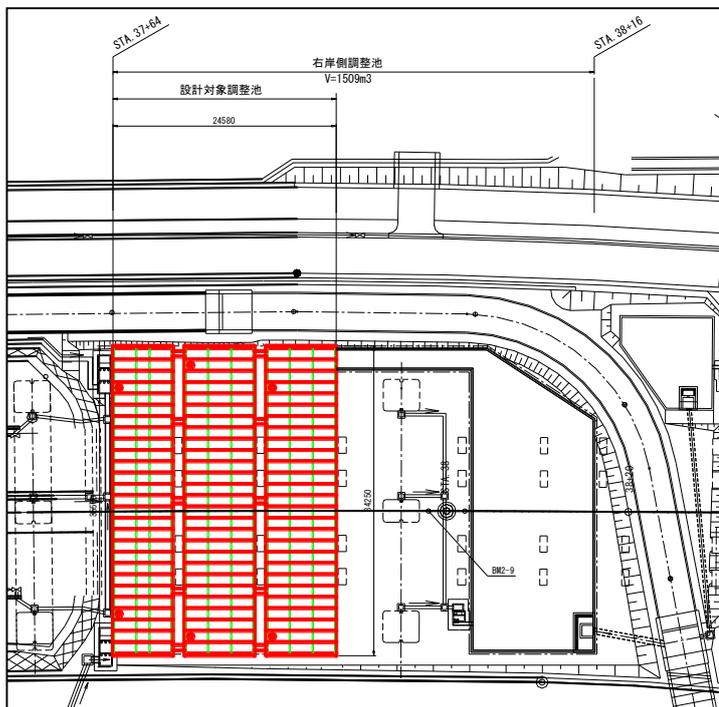
A. エアーキャスター工法を用いることにより、レッカーでの施工が不可能な場所でも施工が可能になります。
高架下の工事でも、常時重機を使用せず、ごく僅かな空気を利用しボックスを移動させる為、ほこりや騒音・振動の心配がなく安全な施工が可能です。



施工写真

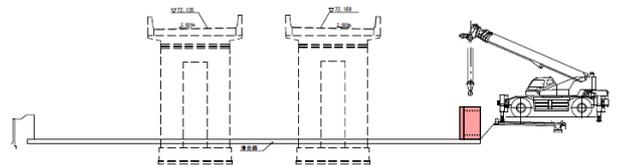


施工手順

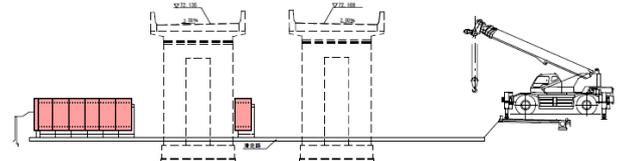


▲平面図

1. ウインチを引き寄せ側にセットする。
2. 重機を搬入する。
3. 最下流の製品は端面版との緊張を行った後、
エアークャスターにて横引きを行う。



4. 順次製品をエアークャスターにて据付し縦締めを行う。



5. 最上流製品と端面版を縦締めし1列目完了。
以降3~5を繰り返す。

